



\*  
\*\*  
\*\*\*  
\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

*Authentic Christmas from Austria*

## 12月のウィーンを包む 芳しき樅の香りとクリスタルの輝光。

photo: LOBMEYR

1 823年の創業もな  
くハプスブルク家御用  
達の称号を得、今から100  
年前のバリ万博でグランプリ  
を獲得するなど、その確かな  
名声のもと、ガラス工芸の魅  
力を今に伝える、「ロブマイ  
ヤー」。元日、「ウィーン・フィ  
ル・ニューイヤークンサート」  
が行われるムジークフェライ  
ンザールに燦然と輝く釣鐘形  
のシャンデリア然り。名だた  
るグランメゾンからは名作  
「バレリーナ」を筆頭に、グ  
ラスへのオフアアが後を絶た  
ない。ロブマイヤーの手仕事  
のクオリティは、私たちに豊  
かな時間をもたらす。

ブランドを率いる六代目  
レオニード・ラート社長が語  
るクリスマスの思い出。それ  
は、華やかでありながらも、  
牧歌的なエピソードにあふれ  
ていた。

幼少期、レオニード少年は  
聖夜を祖父母が所有していた  
ニーダーエステライヒ州の古  
城で迎えることが多かったと  
いう。

「その日が近くなると男衆  
が森で木を切ってきて、お城  
の部屋に持ち込むのです。5  
メートルくらいの高さがあっ  
て、いつも見上げていました  
ね。あの木の香りは、今でも  
覚えているくらい」

香りは鮮明な記憶だ。現在  
は12月になるとご子息を連  
れ、ツリーを求めてまちへ。

「フレッシュなほうが香りが  
いいから」と、買いたいもの  
も直前だ。

「今は息子と一緒にデコレ  
ションしますが、昔は、天使  
がすることだから人間のこど  
もはしてはいけなさとされて  
いました」

イブの日。ミサから戻り  
「silent night」を歌い終えると、  
ベルを合図に、秘められた空  
間のドアが開く。そこには  
キャンドルやオーナメントを  
まとった見事なツリーが！

「プレゼントもたくさん置  
いてあるから、私たちはそれ  
に飛びついていったものです」  
おいしい思い出も尽きな  
い。毎年必ず家族と一緒に作  
るのは、ジンジャーブレッド。  
「生地を伸ばして、型で抜い  
て。本当はクリスマスの後で  
ないと食べちゃダメ。でも、  
みんななかなか守れない」と  
笑う。

24日はオーストリア流、翌  
日はイギリス流が、ラート家  
の習わし。「86歳になる父が  
今も七面鳥の料理を振る舞っ  
てくれるんですよ」と教えて  
くれた。

ファミリーとの微笑ましく  
安穏とした思い出の数々。そ  
のエッセンスは、ロブマイヤー  
の実直なものづくりに刻ま  
れているようである。



左、聖夜の宴、ロブマイヤーのグラスを受け止めるのは日本の寄木細工のコースター。 1.レオニードさん一家が暮らすアトリエ上階のアパートメントに、家族やごく近い親族が揃う。2.創業者一家で継承されるロブマイヤー。右がレオニード・ラート社長。3.ウィーン本店を照らす“光の彫刻”。4.フレッシュな香りのツリーを囲むこどもたち。5.レオニードさんの父、5代目のピーター・ラート氏。七面鳥のグリルを手に。

\*\*\*

※〈ロブマイヤー〉の商品はP21でご紹介しています。



//  
ロマンティックな夜を飾る特別なグラスたち  
//



### LOBMEYR

1823年創業のウィーンの名工ガラス工房(ロブマイヤー)は、ハプスブルク家御用達として知られるオーストリアを代表するブランド。「アルハンブラ・シリーズ」は、19世紀のロブマイヤーを代表する名作のひとつです。スペイン・グラナダのアルハンブラ宮殿にある壺「ジャッラ」の装飾に着想を得ており、エナメルで描かれた動物のモチーフが印象的。繊細な絵付けはすべて職人の手作業によるもので、1点ごとに表情が異なります。

〈ロブマイヤー〉アルハンブラ タンブラー(左から)鹿・馬・白鳥  
(径8.3×高さ9.8cm)各60,500円[各5点限り]/日本橋